

第195回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成26年1月9日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人  
出席委員数 7人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)  
片山 貴之(副委員長)  
青木 敬信  
古磯 勝子  
片岡 真理  
島田 恭子  
長 茂男

(2) 放送事業者側出席者 佐藤 望(放送部長)  
古寺 雄史(放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

毎週火曜日、午前9時30分頃から放送しているワイド番組「B-UP」内のコーナー、「栃木から世界へジャンプ」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

栃木県から中国・香港、アジアへ進出している栃木の企業を紹介したり、これから世界へ進出したいと考えている県内企業へのきっかけになるような情報も発信しています。

さらに、栃木県香港事務所からの情報、アジア地域へグローバル展開する栃木出身の企業家へのインタビュー、現地取材などを行って、番組を構成しています。

## 【 番組の試聴 】

委員：

栃木と世界のつながりを紹介するという番組コンセプトは、とても興味を持てるものである。

段さんの起用は、国際的な雰囲気作りにはなったが、世界が「セイカイ」に聞こえるなど随所で発音に難があり、話す内容を理解するためには、じっと聞き入る必要があった。

委員：

段さんのたどたどしい日本語でのコーナー紹介は、聞き取りづらい。落ち着いて聞けなかった。

事業者：

グローバルなイメージを打ち出すために、中国人タレントを起用してほしいとの希望があった。言葉上の支障はあるが、番組のマスコットの的な位置づけでならと、起用を決めた。

委員：

企業インタビューのコーナーに B-UP パーソナリティの鹿島田さんがインタビュアーとして登場するため、10分間のこの番組の主たる進行役の役割があいまいになってしまっている。

むしろ鹿島田さんが進行役になって、段さんがインタビューや現地レポートを届けることで、番組全体がしっくりくるのではないか

委員：

コーナーのつなぎに工夫もなく、また、段さんと鹿島田さんのトークの絡みが全くなく、内容がばらばらに感じた。

インタビュー後にその内容について2人が話すなど、取材内容についてトークの絡みがほしい。

それが無理でも、この時間のメインDJとして、段さんは取材内容への感想コメントを入れるべきだと思う。

委員：

企業インタビューのコーナーでは、鹿島田さんがその質問の答えを事前に知っている前提で、聞いているのがありありと感じられ、質問の振り方がしらじらしく聞こえた。

質問をするのでも、説明するのでも、型にはめずに、もっと丁寧にやってほしい。

委員：

インタビュー中で使われていたBGMが、話のテンポやその内容にマッチしていなく、違和感があった。

さらに、駐在員の渡辺さんに話を聞いた回の会話の中で、「お金持ちの方が…」という表現が何度か使われていたが、不快に感じた。あまり、放送で使うべき表現ではないように感じる。

委員：

渡辺さんは、企業の海外進出を支援する栃木県としての取り組みについて、きちんと伝えていた。

今後、渡辺さんを定期的に登場させるなどして、現地で見つけた情報を、もっと紹介してほしいと思う。

委員：

中国に進出した企業の話は、どれも放送尺が長過ぎで、聞いていて退屈に感じられた。

また、内容は、取り扱う商品の紹介ばかりが目立ち、その企業理念や海外進出に関する考え方などの話があまり語られていなかった。もっと情熱的な想いを取材して、番組で伝えてほしかった。

委員：

タイトルについて、「世界へジャンプ」とはいえず、「世界へステップ」的な内容であった。

大げさなタイトルのためにかえって、内容の希薄さが目立ち、期待外れに感じた。

委員：

現地を訪れてのリポートなど手間を掛けて作っていることは感じられた。

中国や香港での、栃木の企業の頑張りを番組で取り上げることに意義があるが、

中国人ならではの話が聞けた“段ちゃんニュース”を除き、番組全体を通して盛り上がり欠けた。

次回の放送が楽しみになるようなワクワク感のある番組作りを心がけ、もっと番組の存在感を示してほしい。

委員：

雇用創出事業ということで、制作上ある程度の縛りがあるのは仕方ないが、内容に関しては、局側がもっとイニシアティブをもって、制作にあたってほしい。

モチベーションを高く持ち、個々の番組・コーナーを丁寧に作っていく努力を日々続けてほしい。

そうしたことを日々、一つ一つ積み上げてはじめて、局全体の評価を高めることができるのではないか。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を3月6日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 1月26日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし